

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	12-7
PDCA	主要事業名	民間人材活用事業 (中心市街地活性化)	部課名	市民経済部産業課	担当	赤坂
					内線	322
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 1 単位施策： 市街地 全体事業期間： 令和 5年度 ~ 5年度 全体事業費等： 11,690 千円 会計 一般会計 歳出科目： 06.01.02.02.51					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	事業概要等	事業概要： 中心市街地において、JR武豊線連続立体交差化事業等でハード面でも街の姿が大きく変化するこの時期に、民間人材を市長特任顧問として登用することで、中心市街地活性化の取組を一層加速化させる。				
		事業目的： 中心市街地活性化に向けて、民間人材を市長特任顧問として登用することで、専門知識や柔軟な発想により課題解決を図るとともに、民間の発想を職員に浸透させることで仕事に対する意識改革を図る。				
		事業内容： 市長特任顧問報酬・旅費に係る費用弁償、市役所側のリモートワーク環境整備				
		問題点・課題等： これまでも中心市街地活性化に係る事業を行ってきたが、市職員だけでは中心市街地の課題解決に向けたノウハウが乏しく、思うような成果を出せていない。				
	予算額	主要事業とする理由				
	11,690 千円	郊外部も含めて、持続可能な半田市をつくるため、機能が集まっているまちの顔である中心市街地を活性化することで、市内各所への波及効果を増大させ、行政サービスの維持や生活環境、地域の魅力を高め、選ばれ続ける半田市を目指していくため。				
	財源内訳	得られる成果				
	市費 11,690 千円	現状を踏まえつつ、これまで商店街や市民、行政が行ってきた取組と、特任顧問の経験や知見を融合させることで、中心市街地活性化の取組を一層加速化させる。				
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態				
県費 0 千円	中心市街地（西側）に人が集う場ができています。					
その他 0 千円						
D 実績値 得られた成果と	決算額	得られた成果				
	8,925 千円	市長特任顧問の助言を得ながら、民間事業者や市民にヒアリングを行い民公連携の活性化の体制づくりを進め、庁内では連携会議を立上げ複数部署の連携を図り、推進方針の策定を行った。また、市民や事業者への講演、中部地域の関係者が集い学ぶ中心市街地活性化ネットワーク会議を半田市で開催し、気運の醸成につながった。				
		成果指標	令和5年度			
		実績値	知多半田駅前に実験的に人が集う場ができています。			
		目標値	中心市街地（西側）に人が集う場ができています。			
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 特任顧問の指揮のもと、中心市街地活性化推進方針において、多様な目的をすることで、多様な人が来る・関わる・暮らす・働くような仕掛けづくりを進めることを示し、特に知多半田エリアを活性化の核とし、半田駅前や半田運河との連携を進める事業展開を行った。 また、地域と行政の対話に努め、民公連携による中心市街地の持続可能なまちづくりの仕組みを作るための協議会設立準備会、庁内連絡会議、未来図やコンセプトブックの作成、エリアマネジメント会社の設立など、地域や民の自主的な活動につながった。半田運河や知多半田駅前の公共空間を活かした実証実験で行ったベンチ設置やキッチンカー出店の取組は、人が集う場となった。 今後は、民の活動が常に見える場づくりを行うとともに、半田駅前エリアでのプレイヤーやマネジメント人材の獲得、民主導の事業展開への環境支援、情報発信、郊外・市外とのネットワーク作りを強化する必要がある。				
		主要施策の成果報告書で活用				
A 課題解決に向けた今後	今後の事業の方向性	拡充推進 令和4年・5年度はスピード感をもって課題の洗い出し、方針策定、事業展開、地域との協議を進めたが、ビジョンやコンセプトを定めた今後は、民公連携のまちづくりという大きな方向性を維持しながらも、市としては基本計画の策定を軸に、協議会との調整を行いながら事業展開を行う。 また、人の動きや交流、コトが起き展開する過程を見える化するため、情報発信や、実証実験、場の常設化を目指す。（令和6年度からは、民間人材活用事業は中心市街地活性化事業に集約）				
		観点別評価	必要性	有効性	効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 あり	ある	
	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	減余地	※手段の変更		
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		